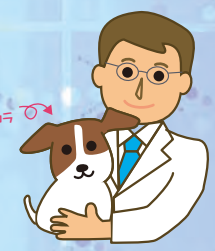
研究室便り

すっぴん美肌になるための
基本講座シリーズ⑱

保存版



〈純選堂研究室〉☎03-5474-0883　平日 午前10時～午後5時

この夏は高濃度水素水でのりきりましょう!!～やはり水素はすごかった!

夏はエアコンによる室内外の気温差、寝苦しさからくる睡眠不足、冷たい物の飲食からくる消化不良などで、体内に活性酸素が増えがちです。加えて強い紫外線のせいで、体もお肌も相当なダメージを受けています。いっきに老けてしまわないよう、体の中からしっかりケアしておきましょう。

体の「老化」＝「酸化」

研究室では、この数年間一貫して「老化」は「酸化」が原因、その「酸化」を防ぐために「水素バス」や「できたての水素水」をおすすめしてきました。「水素バス」については、たくさんの方から「体が軽くなる」「疲れがとれる」「ポカポカあったまり、朝までぐっすり眠れるようになった」「アトピーだった肌がよくなってきた」などなど嬉しいお知らせをいただいております。

また、「水素水」の方も、「できたて」の高濃度水素水を１日あたり300～500cc、毎日飲むことによって「細胞の酸化を防ぎましょう」とおすすめしてきました。

水素については、近年多くの科学者や研究者が国内外で1,000を越える研究論文をあげ、平成２８年には厚労省の「先進医療B」にも指定されるなど、水素は体に効果のある、安全な物質であることは証明されました。

ただし残念なことに「水素水」商品は、その質がピンからキリまであります。ひどいものだと、水素が入っていない「水素水」も多々あり、２年前に国民生活センターの調査で指摘をうけたことも事実です。

13　広告

第14回 日本疲労学会総会・学術集会レポート

1.2ppm程度の高濃度水素水に疲労を軽減する効果を確認！

平成30年5月18日(金)・19日(土)、九州大学病院キャンパス(馬出キャンパス)「コラボステーション」で、第14回日本疲労学会総会・学術集会が、「疲労研究の現状と未来への展望」をテーマに開催されました。数々のプログラムや学術発表の中、健常者への高濃度水素水(1.2ppm程度)の摂取による、疲労軽減効果を認める発表が注目を集めました。

病的疲労と生理的疲労、2つの疲労

注目される水素の研究

戦後期を迎えた高濃度水素水の研究

日常生活および作業負荷時の抗疲労効果

メンタルヘルスと睡眠改善に効果

酸化ストレスの上昇による健常者の疲労感を軽減

続々と研究が進む高濃度水素水

「高濃度水素水による日常生活における重うつ、不安、及び自律神経機能の改善」

「高濃度水素水の日常作業および精神作業負荷による疲労に対する軽減効果」

水素濃度が重要！

著者 栗田穣彰 博士(工学)

メロディアン研究所　問い合わせ 0120-225-115

読売新聞　平成30年6月8日号

水素水を選ぶときは、水素濃度が重要!～できたての水素水を飲めるのはこれだけ!

しかしこれは「水素水」そのものが「あやしい」のではなく、買う側が正しい選択、すなわち「水素濃度が1.2ppm 以上入っている水素水」を選択しなければならない、ということです。

そこで今回、研究室がおすすめするのは、自分の目でちゃんとできたての水素水であることがわかり、さらにその高濃度の水素水を携帯することもできる、簡易型ボトル「メルスプラス」です。ちまたに出回っている20～30万円する電解型の家庭用水素サーバーではありません。安価にいつでもどこでも、できたての水素水280ccを飲むことができます。また、水素は一番小さな原子のため、一般的な水素水商品のペットボトルやアルミパウチからでは、どんどん抜けていってしまうのですが、「メルスプラス」は、加圧方式でつくられるため、水素を長時間保つことができる点もおすすめしたい理由のひとつです。

安全性にも問題はなく、キャップのデザインを変えたものが、三越伊勢丹本店や銀座店でも採用されており、安心で安全なすぐれものといえます。通常は定価販売の商品ですが、純選堂の会員様だけの特典もありますので詳しくは、次のページをご覧になってください。